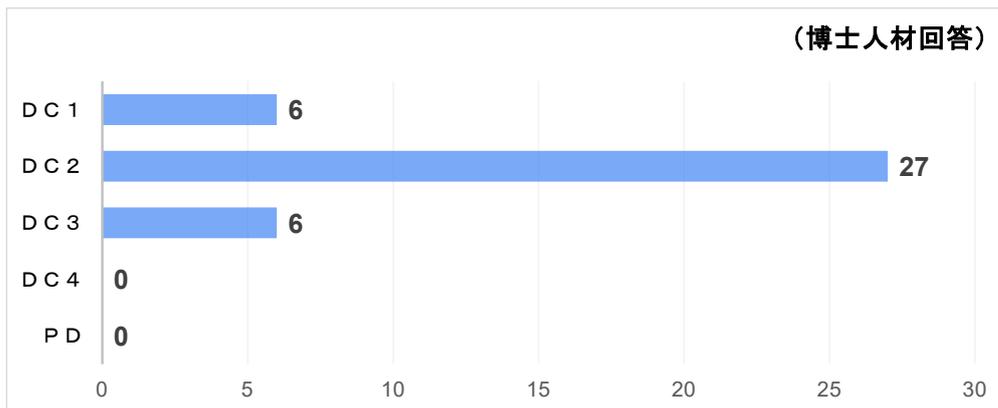


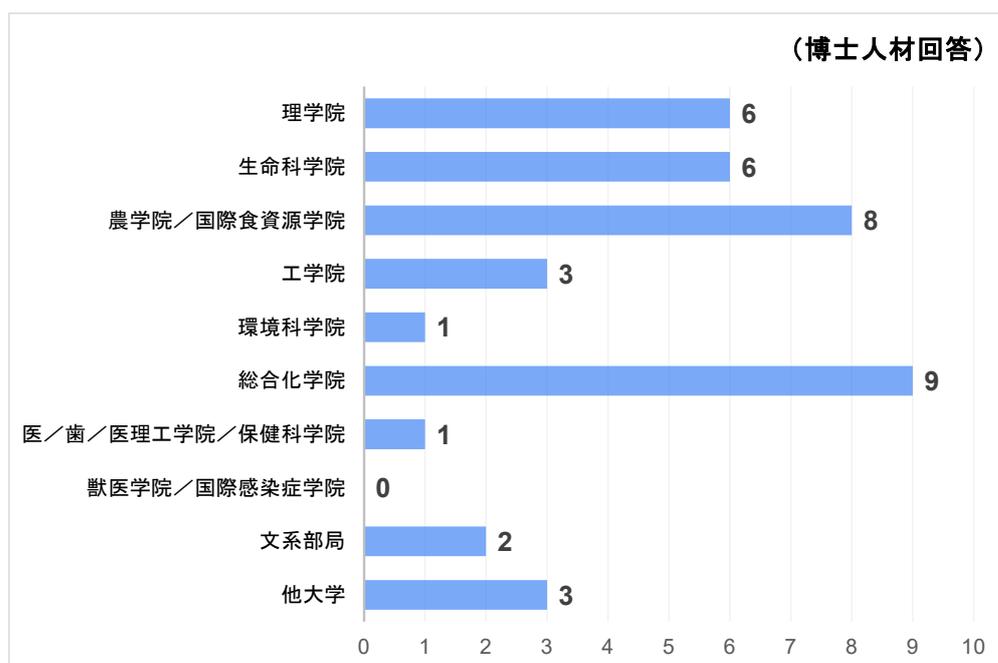
# 第44回 (R2第2回) 赤い糸会 アンケート (博士人材・企業)

[1] 回答者数: 博士人材39名・企業40名 (参加数: 博士人材39名・企業37社)

## 学年(博士人材)

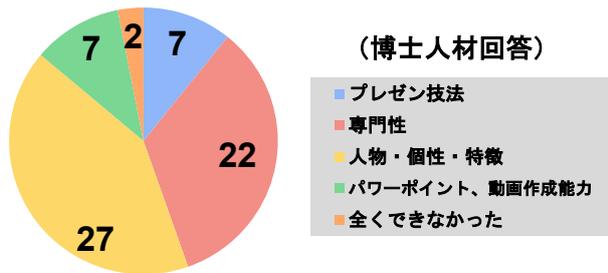


## 所属(博士人材)

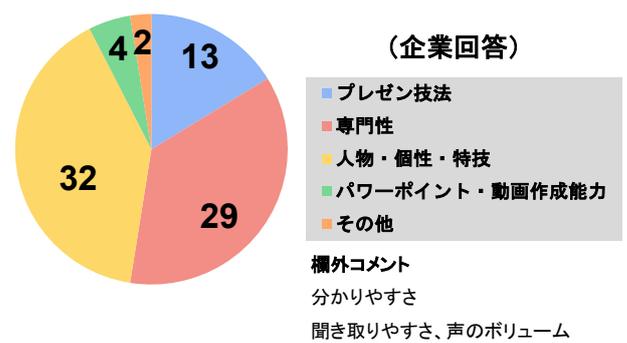


## [2] プレゼンテーション動画について

【アピールできた点(博士人材)】

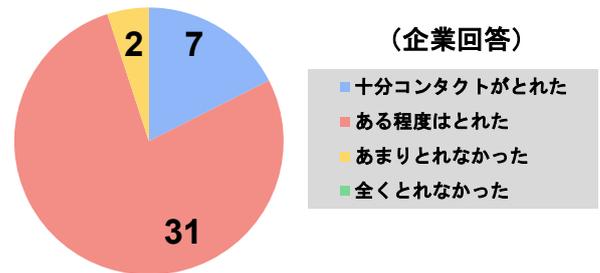
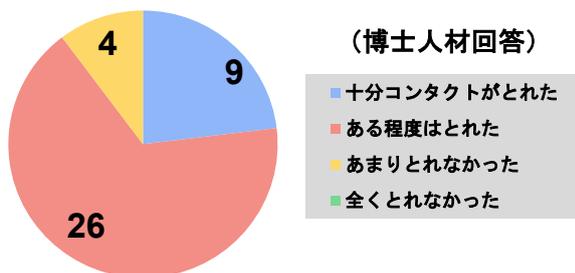


【注目する点(企業)】

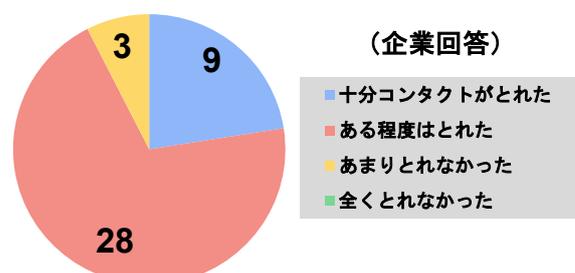
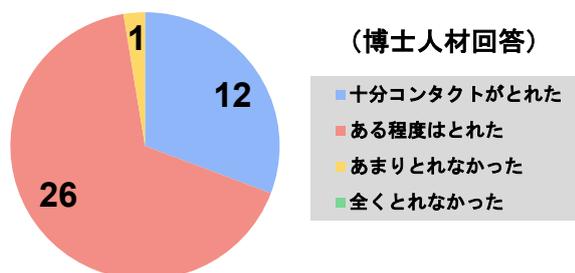


## [3] 企業/博士人材とコンタクトがとれましたか

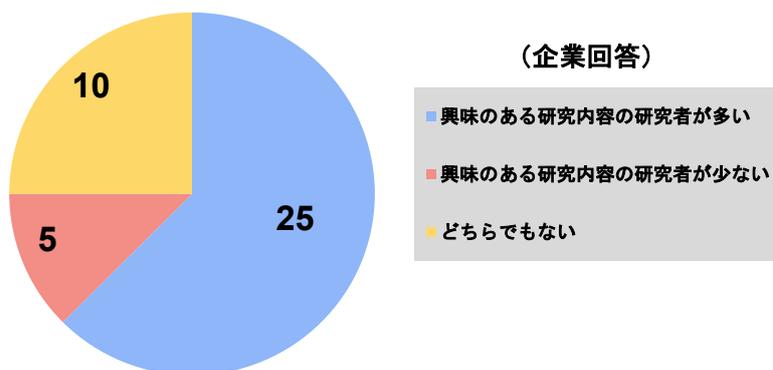
【動画等視聴・チャット／赤い糸ONLINE専用サイト】



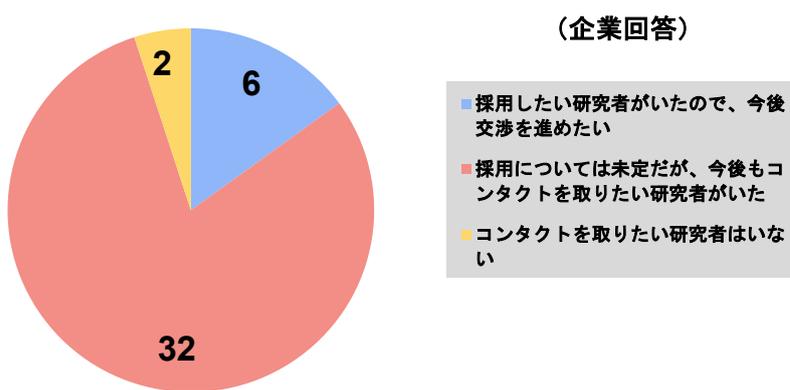
【個別交流会／zoom】



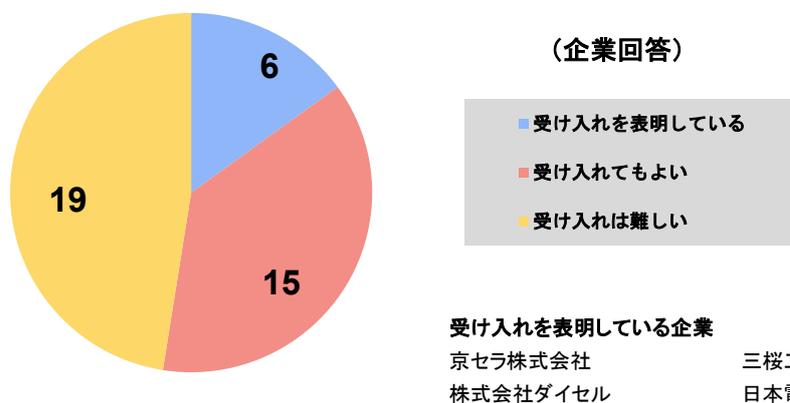
[4] 興味のある博士人材はいましたか(企業のみ)



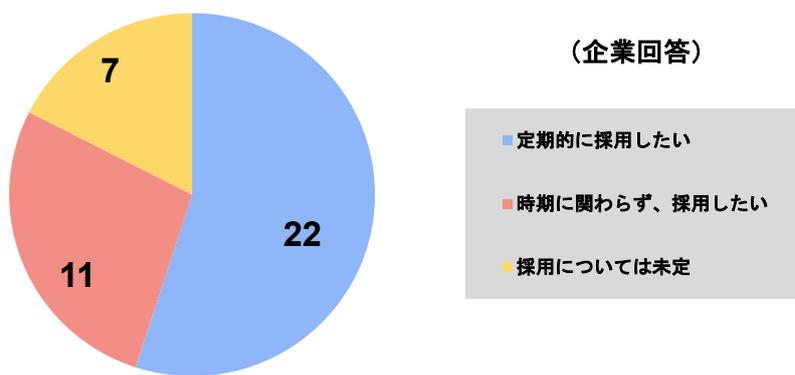
[5] 参加博士人材に対する今後の対応をお聞かせください(企業のみ)



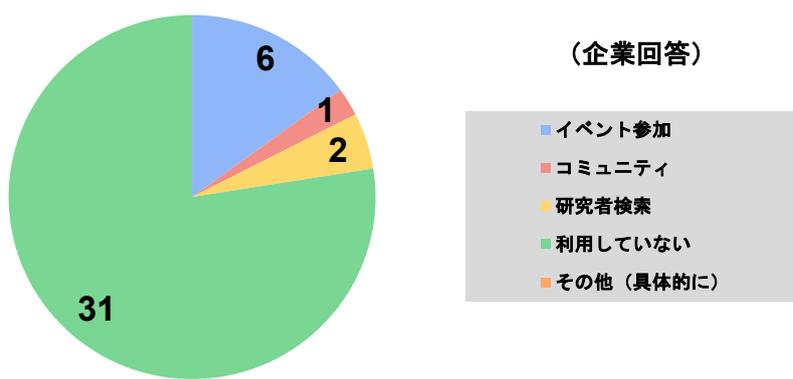
[6] インターンシップについて(企業のみ)



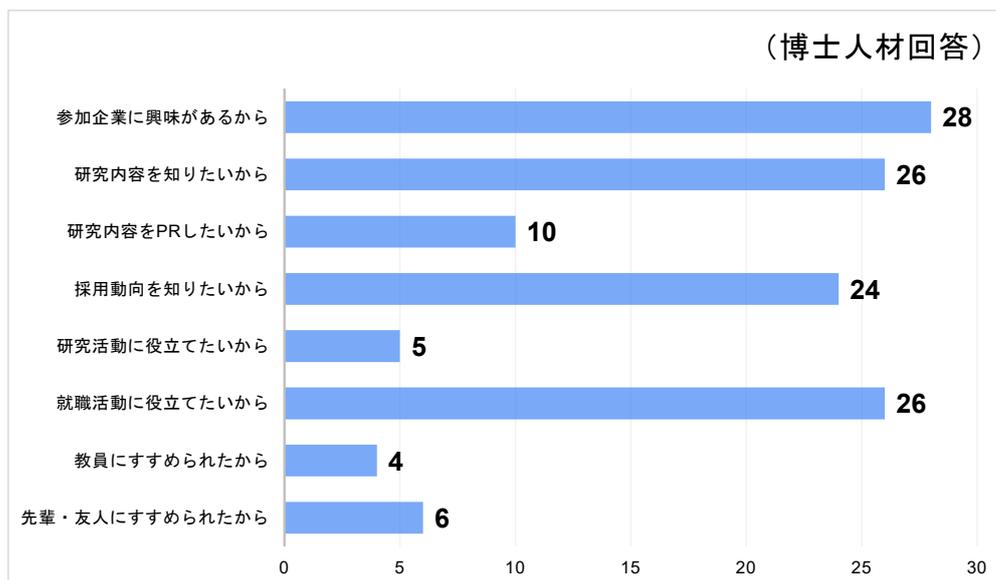
[7] PD・DC採用について(企業のみ)



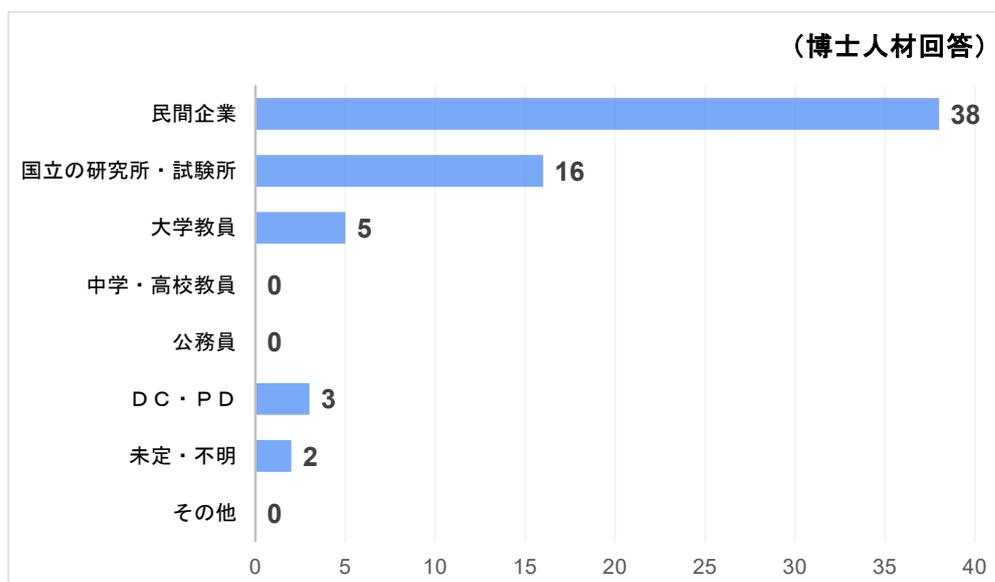
[8] Hi-System(博士人材と企業の双方向ネットワーク)はどのように利用していますか？(企業のみ)



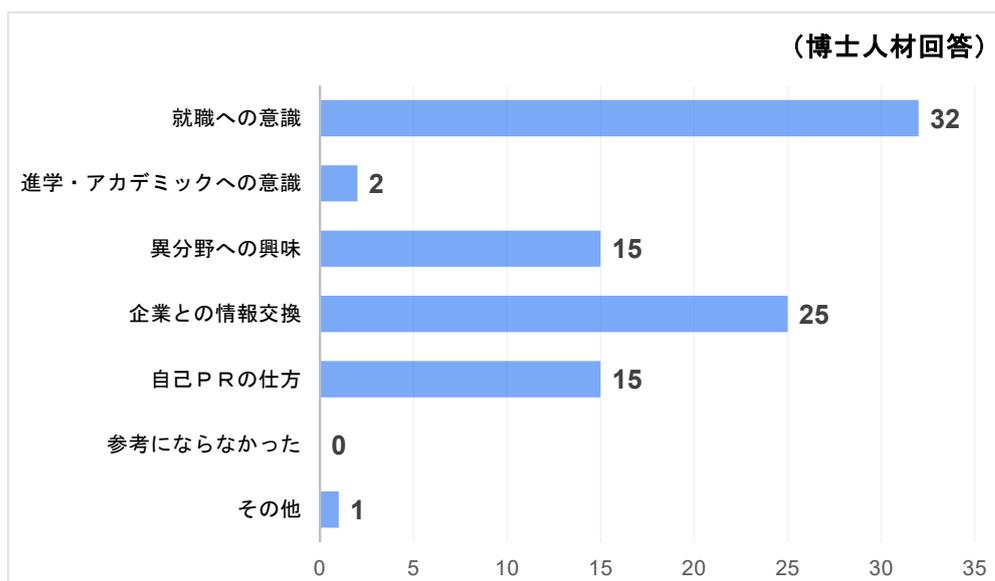
[9] 「赤い糸会」への参加理由(複数回答可)(博士人材のみ)



[10] あなたは、今後の自分のキャリアパスをどのように考えていますか？(複数回答可)(博士人材のみ)



[11] 赤い糸会はどの点が参考になりましたか？(複数回答可)(博士人材のみ)



[12] 「赤い糸会」へ参加して新たな気づきはありましたか。(博士人材のみ)

(博士人材)

1	企業の方々によって博士人材に求める能力が違うことが分かった。今後はそれを指針に就職活動や進路選択ができると感じた。
2	同じ職種でも、業界が異なると社内の立ち位置（力の入れどころ）が変わるということが分かり、非常に勉強になりました。
3	自分今後の進むべき方向について更に明確しました。
4	博士人材に限ったことではないと思うが、化学メーカーはダイバーシティを重要視している点が共通していることに気付きました。そういう意味で、自分の専門性とマッチしていないような分野の化学メーカーでも求めていることもあるので、まずはお話を聞いてみるのが重要だと思いました。
5	やっぱり見学とか行ってみないとわからない
6	各企業でのキャリアパスや、それに対する考え方が少しずつ異なること
7	意外な企業に自分の専門性と合う仕事があった
8	チャットの文章を送るのが凄く億劫で非常に疲れる。担当者が同じことも多いからか、意外と覚えられている。多人数のブースは休めるが目立たない、逆は目立つが非常に疲れる。動画について触れられることがちょこちょこあった。
9	自分の興味のある分野があることはもちろん大切だが、思いがけない企業に興味がある分野に新規参入したい意思があることが分かった。また、自分のノーマークだった企業の話を知るとすごく興味もてたりした。
19	顧客とのつながり方に企業の色があることは再発見でした。
10	はい
11	どういった需要があるのか、どういった会社があるのか短時間で見直せた。
12	面接の時の自分の弱点を洗い出すいいきっかけとなった。
13	即戦力として役に立つことを期待していることは少ない
14	思っていなかった企業からお声がけいただき、専門分野の応用可能性について視野が広がった。
15	選考に囚われずに就職活動しても良いのだと気づけた
16	他分野研究職という可能性
17	興味を持っていることや、これからの社会課題として問題意識を持っている点を、自分がきちんと言語化できるようにだんだんようになっていくように感じました。そして、同じような問題意識を抱えていらっしゃる方や、自身の専門領域を評価して下さる方もいらっしゃるということができ、分野や事柄ではなくそういった観点で共感し合えることが私が就活をする上で重要そうだと気づきました。
18	一年目から参加していると人事の方が覚えてくださっていて、去年一旦話を聞いてくださっているのでさらに深く話ができること。
20	やりたいことが出来る企業、出来ない企業についてより自身の中で整理ができた
21	参加者のプレゼンのクオリティの高さ
22	分野外の方にも自分の研究をわかりやすく伝えることができ、自分の研究説明力を高めたと感じます。
23	化学専門のメーカー企業だと思っていた企業が、生物分野の人材も積極的に採用している点を今回、改めて実感しました。
24	現在の研究内容が基礎研究であり、企業との関連性を見つけ出すことは困難だと考えていたが、切り口を変えれば様々な企業の可能性が見えたこと。企業で直接使いにくい、一般的な研究手法ではない方法を身につけていることが、強みにもなると個別交流の際に企業の方から言ってくれたこと。
25	特にありません。
26	オンラインに移行したことで、企業によっては社員との交流が薄れたところもあった。ただし、人事部の方とはチャットでの交流の方がやりやすい印象を受けた。
27	はい
28	今まで気がつかなかった、自分が活躍できそうな企業を見つけることができた。
29	機械工学、情報系の企業でもバイオの部門が立ち上がっているところもある
30	参加前よりエントリーする企業の雰囲気や情報を知ることができたと思います。また、他の学生の方の質問なども通して「どういう質問をすれば企業のことをよくわかるのか」という部分も若干見えたように感じます。
31	自分の分野とは異なる業務内容などの話が聞けて新鮮だった。

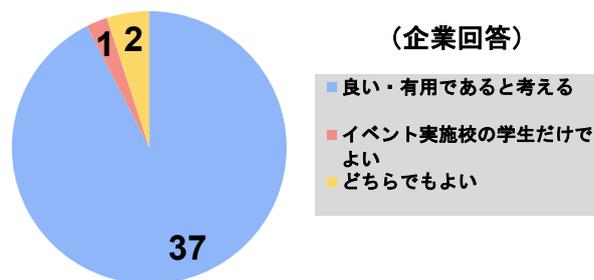
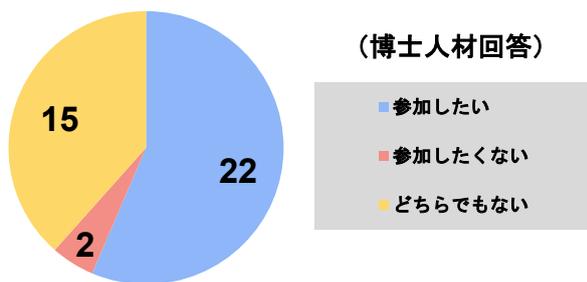
[12] 「赤い糸会」へ参加して新たな気づきはありましたか。(博士人材のみ)

32	質問するときは、要点をまとめることが大事
33	失礼がどうかを悩んでいるより積極的の方がいい
34	化学・製薬環境で活動している多くの新しい会社と知り合いになりました。
35	文系の就職が難しい
36	どんな質問をしても、(極端に失礼でなければ) 回答をいただけることがわかった。
37	はい。専門外の他の分野に対する理解と適用について考えるようになりました。
38	前回と比べて、やりやすい会と感じました。ありがとうございました。
39	今回の参加企業は LIVE 交流会後にチャットの返事がもらえず、企業側は一人一人の学生を見るということはず、なるべく多くの人にエントリーしてもらいたいために赤い糸会へ参加し、企業をアピールできればそれで終了と捉えている所が多いのかと感じた。

[13] コンソーシアム(全9大学)の取り組みについて

連携校マッチングイベントに参加可能なことについて(博士人材)

連携大学の学生が参加していることについて(企業)



欄外コメント

多くの学生との交流ができ大変良い

できれば各大学でのイベント実施ではなく、全体でまとめてやっていただけると嬉しい。

参加大学が増えるにより効果的になると感じております。

・・・など

[14] 今後博士人材へ期待すること・要望など(企業のみ)

(企業)

1	専門性を活かした課題設定力。
2	ある程度の企業研究は必要かと思えます。それよりも自由な発想で、将来どんなことをやりたいのか、について語っていただくことの期待申し上げます。
3	博士人材の皆様は、現在取り組んでいる研究の中で培われたスキルやモノの見方、科学的な知見等積極的にご紹介いただければと思います。
4	課題発見、新規テーマ企画力
5	専門的な知識を活かして、研究開発に積極的に関わってほしい。
6	専門性の高さ、人間力
7	企業からの勧誘を待たず、興味のある企業へは積極的にアピールしてほしい。
8	積極的に企業とのコンタクトして頂き、相互の理解を深めてほしいです。
9	分野が何であれ研究業績をまず期待します。
10	専門性の高さのみならず、多くのことを吸収しようとする積極性
11	今回の取り組みを是非継続実施して双方の成長、理解を高めたい
12	英語力およびグローバルに飛び出していく勇気を持って頂けるとベターです。
13	まずはコロナ禍で大変な状況ですが、博士号取得に向けて現在の研究にがんばっていただきたいと思えます。また交流の場では「こんな就活感で考えている」「将来、こんな仕事をしたい」という具体的な想いを話していただくと、マッチングにも触れながら深い交流ができてお互いメリットを得られるかなと思えます。

[14] 今後博士人材へ期待すること・要望など(企業のみ)

14	日本の就職活動の習慣にとらわれず、自分を売り込める人材を期待している。
15	自分の専門性だけを売りとせず、個性を出し、広く企業を見ていただければ幸いです。
16	博士人材が企業で活躍することは非常に良いと思います。今回もD1から企業訪問を進めている方もいたので、そういう意味では意識は高くなっているのだと感じました。
17	博士学生は、修士学生に比べて研究期間は長く、様々な経験をされていると思います。その研究活動で培った問題解決能力や仮説検証能力等のポテンシャルをぜひ弊社で発揮していただきたいと期待しておりますので、ご興味があれば応募していただきたいと思います。
18	専門性に加え、他分野へのチャレンジ精神と研究の基礎となる課題設定力・遂行力を備えていると非常に良いと思います。
19	研究者、技術者としての能力に加え、課題発掘から解決のプロセスを、先行きが見通しにくい中でも実行できる人材として期待しています。
20	専門性、広い視野、ビジネス的思考
21	自ら考え進める力
22	自らイノベーションを起こすことができる人材
23	企業は、ご自身の研究対象での探究力とこれまで培ってきた研究手法や研究対象以外への応用力を見ています。専門分野以外の応用に関する質問は、間違いや勘違いがあっても問題視しませんので、積極的に話しをしていただくことが良いと思います。
24	基本的な科学的知見と異分野への対応力
25	0→1を生み出す力。専門性を武器にリーダーシップを発揮してほしい。世界で活躍する人材になってほしい。
26	専門性高く、即戦力として非常に期待しております。また、ご自身の専門分野外でもスキルや知見を生かして様々な分野で活躍できると思いますので、ご自身の研究分野へのこだわりが強いことも理解できますが、柔軟に様々な角度から会社を見ていただければと思います。
27	アグレッシブ（全体的に紳士的な方が多いかな）
28	自分の研究以外の企業ブースで新しい可能性を見出してほしいと思います。
29	企業就職を目指すのであれば、専門外の研究でも前向きに取り組みたいという姿勢で、このようなイベントに臨んで欲しい。専門外の研究はしたくないという姿勢ですと、弊社のような中堅企業は採用が難しいです。
30	専門性を磨きつつも、自分の可能性を狭めない（思いこまない）よう頑張ってください！
31	専門性に誇りを持つことはとても大事だが、「自身の研究への取り組みスタイルを活かせば他のこともできます！」とアピールしてもらったほうが、研究内容が関係なくても、「一緒に働きたいな」と思えました。
32	課題発見能力がみについていること。
33	自ら課題を設定し、課題解決するための知識を総動員して計画を立て、実行し、系統立ててまとめて外部発表するという、独立研究者が行うべきプロセスを、きちんと実行できること。
34	研究者として必要な専門性は高めつつ、一方で世の中の変化にも柔軟に対応できるようなMindや姿勢で新しいことにもチャレンジできる人になっていただきたいです。
35	自身の専門分野に直結する業種に捉われず、視野を広げて色々な企業を見てください。自分らしさを発揮できる企業に出会えるはずですよ。
36	原理原則を深く熟知した上での的確、スピーディな研究開発能力
37	様々なことを学び周りを巻き込みながら研究を進めていく力をつけてほしい。
38	専門分野の高い専門性と、幅広い知識。
39	0から新しいことを考え生み出す力をお持ちの皆さんですので、現在の研究を通してその力により磨きをかけていただき、将来要素研究・開発で発揮していただきたいです。
40	在学時に得た専門性と、研究手法を生かし、ぜひ企業研究者としてご活躍いただきたいと思います。

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など

(博士人材)

1	このような状況下でも、オンラインとはいえ直接企業の方々と話せる機会をいただけて、大変満足している。システム等々もシンプルで分かりやすく、使いやすかった。
2	予定表が分かりやすく、助かりました。ありがとうございました。
3	全体的には良かったと思います。ただZoomの時間制限は少し短いと思います。
4	特にありません。
5	一人5分でもいいから学生1で話したい

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など  
(博士人材)

6	赤い糸会の特設サイトについて：企業や他の参加者のPR動画の再生速度を自分で変えられるようにしてほしいです（×1.2や×1.5、×2など）。
7	事前に思い描いていた以上に実りある機会となりました。正直、参加する前までは話半分で聞いていたのですが、「意外な企業と交流することができる」というのは本当なんだと実感しました。
8	開催頂きありがとうございます。Phase 1が機能しているのか気になります。また、ブース訪問時の学生数が少ないことが多かった気がしたのですが、何か配慮があったのでしょうか。おかげで、十分な交流が出来た気がしました。
9	日程をメールして頂けるのはありがたいのですが、赤い糸会全体を通してのタイムスケジュールをグループに乗せるだけでなく、メールで知らせてほしいと思いました。また、ZOOMの名前はZOOM関係のメールに記載していただけたところとしても探しやすいと思った。
10	チャットが使い辛かったです
11	時間や環境の限られる中で、効率的にいただけました。大満足です。
12	どの程度採用に直結するかの透明化(非常に言いにくいこととは思いますが)
13	多数の企業と率直な意見交換ができました。赤い糸会の開催と運営に携わった方々に感謝いたします。
14	前回と比べ、チャットの動作不良が多かったように思います。個別交流の際、インターバルをもう少し長くとっていただけると、準備や振り返りができて助かります。希望していたすべての企業と会期中に個別交流ができて良かったです。
15	個別交流会の日程は把握していたが、何時から開催するかの情報がメール本文での記載が見当たらず、情報を探するのに少し苦労しました。
16	J-windowをもっとおして欲しいです
17	動画を視聴していただくというボタンがなくてもチャットでやり取りさせていただけると、phase3でたまたま足を運んでお話しした企業様とも気軽にやり取りができるのかな、とは思いました（ただやはり互いにきちんと動画を見るということも重要かと思うので強いて意見を言うならという感想だと思っていただければと思います）。
18	異分野が話せるようなシステムでやっぱり良いと思いました。
19	今回はPhase1が短く、ゆっくりと企業の動画を見る時間が取れませんでした。
20	貴重な機会ありがとうございます。
21	赤い糸会ONLINEの専用ページのチャットや企業動画のページが固まってしまうことがよくあったので修正してもらいたい
22	赤い糸会ONLINEは非常に良い機会です！様々な企業と出会うことができ、情報交換が可能です。今後是非続けてください。できれば、9月スタートの開催もして頂ければ幸いです。
23	スタートアップ企業の参加数を増やす、もしくは、スタートアップ企業専門のイベントを開催するというのはいかがでしょうか。 私の博士課程の友人で、スタートアップ企業での研究を行いたいという学生がいますが、赤い糸会は中規模以上の企業の参加が多いということで、これまで参加を見送っています。そのような北大生や他大生が潜在的に多いのであれば、彼らの就職支援として価値があるのではと考えています。
24	ONLINEに慣れた部分もありますが、第43回と比べて、様々な部分を使いやすくなっており、企業と非常に有意義な交流ができました。ありがとうございました。 今回は少人数のセッションに参加することが多く、その実感としてですが、学生2人と企業ぐらまでの少人数での個別交流会が、異分野とのマッチングの可能性を感じました。 正直なところ、私個人としては、セッション5か6で企業の方と学生一人（あるいは2人、せめて3人まで）の交流会が一番お話を伺うことができました。ざっくばらんにその企業での自分の可能性ということに関して、意見をもらうことができ、非常に参考になりました。（『異分野ですが、お話を聞きに来ました。』という形で採用の可能性があるのか聞くことができ、個人的には、下調べをしていなくても罪悪感がないため、様々な質問がしやすかったです。）後日、個別で面談を頼むほどの志望度の高さがなくても、企業の採用担当あるいは技術・研究の方と20分、ゆっくりとお話できたのは、非常に良い時間でした。
25	今回もありがとうございました！
26	一回当たりの参加企業数を増やして1セッション辺りの博士の数が減るような調整があれば良いと思う
27	特にないです。
28	素晴らしい企画をいつもありがとうございます。細かい指摘にはなりますが、赤い糸会ONLINEのHPIにおけるチャットで、企業間の切替が上手くできなかった点だけが気になりました。
29	特になし
30	昼間研究やミーティングで手が離せなくて、夜パソコンを触った時には見れる時刻を過ぎていた、ということがたまにあるので、可能であれば夜もチャット内容や動画等を見れるようにしてほしいです。
31	いくつかの企業で連絡先やインターンの情報を得られたが、深いつながりを得られたかと聞かれると、一概にそうとは言えない結果だった。
32	オープン期間をもう少し長く設定してほしい
33	ありがとうございました。
34	今回はオンラインコミュニケーションの方がカジュアルだったと思います。多くの学生や会社の代表者がコミュニケーションを楽しんだ。ありがとうございました。

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など  
(博士人材)

35	参加する企業の種類はちょっと少ないです。
36	特にありません。
37	自己分析と就職活動に対して多くのことを学びました。いい機会をくださってありがとうございます。zoomを利用した交流会の後に、専用サイトのチャットの利用期間をもう少し延ばしていただければと思います。
38	ありがとうございました。
39	企業側にも開催期間中は最終日まで積極的なサイトへのログインをより周知していただきたい。

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など  
(企業)

1	オンラインで、良いPRができたと思います。ありがとうございました。
2	毎年、細かい点に至るまでお気遣いを賜り感謝申し上げます。
3	非常にスムーズな運営に感謝申し上げます。
4	参加大学が多く、博士採用に力を入れていただいているので企業としても参加する意義が大きいと感じている
5	オンラインであったが、想像していたより学生との交流がよくできたので良かった。
6	マッチングイベントとしては良い
7	貴重な機会を提供していただき、有難うございます。
8	博士学生への指導がしっかりしている印象を受けました
9	学生との大変よい接点を提供していただきありがとうございます。
10	1タームがもう少し長いと有り難いです。
11	もう少し時間があると尚良いです。
12	とても良く計画されており、ポスターセッション（オンラインビデオ）毎年参加を楽しみにしております。
13	事前の動画視聴、事前・事後のチャットやり取りがあるのは大変良かったです。当日いきなり深い話には入れたのでスムーズに交流できた。ただ、弊社からなかなかタイムリーにチャットのお返事ができず申し訳なかったです。交流の場では少し話したりなかったのが、各セッションの時間がもう少し長いと良かったかなと思います（30分くらい？）。学生の個別ルームに企業が訪問というスタイルでも良いかと思います。学生お一人対企業でじっくりお話ができるので、もっと深い話ができると思います。
14	他大のキャリアイベントに比べてよく教育されており、事務局の皆様および学生の意欲を強く感じる。
15	学生と納得いくまで話をするという事は難しいですが、総じてオンラインでもイベントとして問題なかったと思います。
16	学生さんとチャットができるようなシステム仕様は良かったと思います。
17	本イベントでは北海道大学の学生が9割ほどを占めており、他大学の学生さんとも交流を持ちたかった。
18	積極的にコンタクトやアピールを行う博士学生もおり、費用に良い取り組みと思います。Phase3はPhase1でコンタクトを取った学生のみが参加すると伺ってましたが、認識していない学生が参加し予定していたマンツーマン対応が一部崩れたので、事前にセッションごとの参加学生がわかるとベターです。また複数の社員で対応する関係で、各セッションの開始時間も事前にご案内いただけると助かります。
19	研究内容をもとに学生さんと交流するポスターセッションのようなものと更に良いと思いました。
20	企業側の準備物がもう少し簡易になると参加しやすくなると思います。
21	人数が適切（2,3人）でいつもの赤い糸会より多くの情報を提供できたように感じる
22	従来の対面式に匹敵する内容であったと思います。
23	今年のようなコロナ禍においては、ONLINEの交流会でも予想よりはコミュニケーションが取れた。
24	微妙なニュアンス等を伝える上で難しい部分があったり、交流方法が限定的であった。
25	博士人材と話せる機会はあまりないため、興味を持ってもらえるきっかけになって良いと思います。生物系の学生が多い印象があり、自社の専門に近い情報系などの分野の学生も増えるとより良いと思います。開催ありがとうございました。
26	今回も多くの学生とコミュニケーションをとることができ、非常に有意義な時間をありがとうございました。運営もスムーズで、すばらしいと思いました。

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など  
(企業)

27	セッション時間の延長（最低30分）をお願いしたい。総時間が増えても可。
28	多数の大学からエントリーできる場所で、新しい出会いがありました。
29	会社としてONLINE対応できる人材が少なく、限られた人材で今回は対応した。リアル開催の方が参加しやすい。
30	プレの動画視聴期間をもう少し長くして欲しいです。
31	ONLINEでも問題なく交流はできたが、対面でポスター発表を行っていた時のほうが、「会話」をする時間が長く、その人の人柄を感じることができた。
32	運営がスムーズで安心して参加できました。ありがとうございました。
33	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画の公開から、交流会、クローズまでの期間が短すぎました。とくに、交流会終了からクローズまで48時間しかない事は、他業務との調整が極めて困難にしています。</li> <li>・個々の人材との交流の濃度という点では、オンライン会の満足度はリアル会の半分以下と判断します。</li> <li>・一方、オンライン会であることで、リアル会には参加出来ない社員にも会っていただけた事は、リアル会では実現不可能な利点でした。</li> </ul>
34	研究分野にやや偏りがあるように見受けられました。
35	コロナ禍の状況を踏まえるとベストな対応策だったと感じています。一方で、直接会話できた方がより臨場感が伝わってよいと思いました。
36	各大学主催のイベントに参加させていただきましたが、ここまで綿密にシステム設計されたイベントは初めてで、大変驚きました。学生とより濃密なコミュニケーションを取れる本会のようなシステムをさらに多くの大学に展開していただければ、博士人財の就職マッチングがさらに盛んに行えるのではと感じました。
37	博士の方と交流できる良い機会なので今後も続けていただきたい。
38	素敵な仕組みと思います。
39	初めての参加で至らぬ点があり大変申し訳ありませんでした。博士の方とのコミュニケーション(チャットなど)も時間が掛かってしまい満足に出来ず申し訳なかったです。第3回も参加させていただきますので、次回はより良い交流ができるよう努めたいと思います。
40	初めてのオンライン開催であったため、参加する立場として2回目ようやく要領を得たように思う。事前に参加する学生の情報が閲覧できる点は良かった。

[16] J-Window(人材育成本部教員との面談・エントリーシートなどの添削・面接練習)を希望しますか(博士人材のみ)

